

2 対象別、宿泊日数別利用状況

研修 宿泊日数	対象別 団体人数		在 学 青 少 年								指 導 者 そ の 他		計		
	勤 労 青 年		小 学 校		中 学 校		高 等 学 校		大 学		団体数	実人数	団体数	実人数	延人数
	団体数	実人数	団体数	実人数	団体数	実人数	団体数	実人数	団体数	実人数					
1泊2日	23	908	90	5,898	44	3,011	27	1,893	2	33	6	328	192	12,701	24,142
2泊3日	17	668	27	2,041	14	1,517	22	1,551	6	66	3	94	89	5,937	17,811
3泊4日	5	364			1	51	2	60	4	99			12	574	2,296
4泊5日					1	114			1	80			2	194	610
5泊6日	1	89					2	38					3	127	762
団体数・実人数計	46	2,029	117	7,939	60	4,693	53	3,542	13	278	9	422	298	18,903	45,981
団体数・実人数%	15.4	10.7	39.3	42.0	20.1	24.8	17.8	18.7	4.4	1.5	3.0	2.2	100	100	
延人数計		5,810		18,008		11,347		8,818		1,060		938			45,981
延人数%		12.6		39.2		24.7		19.2		2.3		2.0			100

第4節 主催事業

1 集団宿泊指導担当者研修会

(学校関係)

(1) 目的

学校教育と社会教育との連携を具体的に推進し、児童生徒の全人的育成に資するため、青年の家での集団宿泊指導の効果的な運営・内容・方法について研修する。

(2) 期日・会場・参加者

ア 期日 昭和55年6月10日～12日 2泊3日

イ 会場 福島県海浜青年の家

ウ 対象及び参加者数

昭和55年7月8日から昭和56年3月末までの間に、海浜青年の家を利用しようとする小・中・高等学校の引率指導者及び利用の有無にかかわらず当研修会に参加を希望する教職員(生徒指導主任・学年主任等) 35名

(3) 研修内容

- 講 義 「在学青少年と集団宿泊研修」
「青年の家における研修」
- 実 技 「ゲーム、フォークダンス」、「キャンプ・ファイア」、「オリエンテーリング」、「キャンピング」
- 演 習 「プログラムの編成」
- 事例発表 (小・中・高等学校教員各1名)

2 勤労青年のつどい

(1) 目的

県内に働く青年が共同宿泊生活をとおして交歓をはかり、友情の輪をひろげながら知性と教養を身につけ、充実した青春を送り、社会人としての自覚とグループ活動参加の意欲を高める。

(2) 期日、会場、参加者

ア 期日 昭和55年7月18日～20日 2泊3日

イ 会場 福島県海浜青年の家

ウ 対象及び参加者数 県内の勤労青年男女 40名

(3) 研修内容

- 講 演 「本県の歴史と経済の展望」
「情報化社会と青年」
- 研究協議 「地域・職場における青年の役割について」
- 実 技 「海水浴」、「キャンプ・ファイア」、「オリエンテーリング」

3 親と子・海浜のつどい

(1) 目的

親と子で大自然に親しみながら海浜でのレクリエーション、共同生活の体験を通して望ましい親子関係を深める。

(2) 期日、会場、参加者

ア 期日 昭和55年7月26日～27日 1泊2日

イ 会場 福島県海浜青年の家

ウ 対象及び参加者数

親と子(親1人に小・中学生3人以内) 146名

(3) 研修内容

- 講 義 「親と子の望ましい関係」
- 実 技 「海水浴」、「海浜レクリエーション」、「砂の芸術」、「キャンプ・ファイア」

4 野外活動研修会

＝青少年教育実技指導者研修会

(野外活動応用講座)＝

(1) 目的

青少年教育における指導者の野外活動実技指導の技術の向上をはかるため、実技に関する専門的知識や技能及び指導法について研修し、その資質の向上をはかる。

(2) 期日、会場、参加者

ア 期日 昭和55年8月7日～10日 3泊4日

イ 会場 福島県海浜青年の家

ウ 対象及び参加者数 教職員、社会教育関係団体・企業体・グループ等のリーダー、在学青年(高校生以上)、勤労